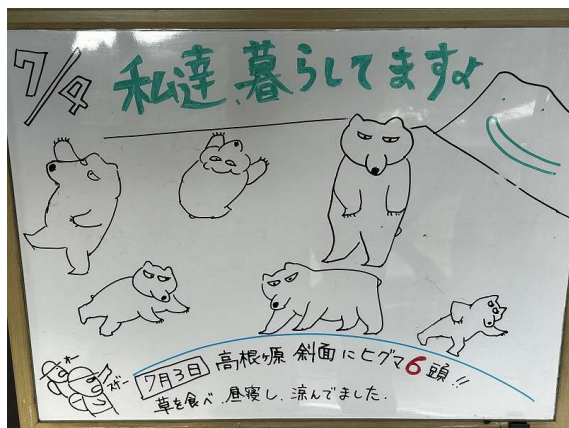




ヒグマ達の季節到来@沼めぐり



7月3日は高根ヶ原斜面に最大6頭の単独ヒグマ達

6月17日にオープンした今年のヒグマ情報センター。業務開始後の17日間(7月6日時点)でコース内にてヒグマが目撃されたのは14日間。天候不良により高根ヶ原斜面の視界が無く探すことができない日もあったので、かなりの確率でヒグマ達の姿が確認できていると言っていいでしょう。今年は単独個体が多く見られていて、7月3日には単独個体だけで6頭のヒグマが高根ヶ原東斜面に確認されました。大学沼周辺からと高原ピーク奥からと。ヒグマがあらちこちらに...今年も沼めぐり登山コースのヒグマシーズン本番ですね。

ヒグマ達との距離感

春、この沼めぐり登山コースの大きな特徴はヒグマと人との距離が一定程度確保できていることが多いということです。

高根ヶ原東斜面の雪解けに合わせて現れるパッチ状の草地で採餌をするヒグマ達。この時期、登山道は随分下にある為、遠くにいるヒグマ達を双眼鏡や超望遠レンズを付けたカメラで眺めながらコース内を歩くことができます。時折コース内を移動中のヒグマ達がぱったり登山者や巡視員と遭遇、なんてこともあります。そんな場合でもこちらが慌てず騒がず後ずさりをするなどして距離を保っていれば大きなトラブルにつながることはほぼないというのもこの特徴。

ヒグマ達はのんびりと草を食み、人がそれを遠くから眺める。ヒグマ達は遠くから眺めている人の方を時折眺めたり匂いを嗅いだりして認識しつつも、彼らのペースで生活しています。時々、人とぱったり遭遇してもそそくさと茂みに隠れてやり過ごし、また違う餌場へと移動... 最近のヒグマとヒトとの軋轢を取り上げる報道とは程遠い景色が、この沼巡り登山コースには広がっているのです。



ヒグマ情報 (6/28~7/7)

今年はお一人様の年?!

◆ヒグマとの遭遇!!◆

この10日間、高根ヶ原斜面では生活するヒグマが毎日観察できました(200~600m)。おそらく10頭ほどは暮らしていると思われます。

その中で遭遇(30m以内で双方認識あり)は3件(すべてヒグマが逃げる)。

緑岳や白雲小屋付近での遭遇も数件あります。

現在、人に近づくような危険個体の報告はありません。



6月29日 顔の大きな単独個体



6月30日
ずんぐりした個体が多く見られます



6月30日
少し大きめ単独個体

今年の個体確認は単独の個体ばかりで親子がまだ見られません...果たして今シーズン親子は現れるのか? 昨秋の餌の少なさも影響...?

登山道はヒグマの痕跡だらけ



沼めぐり登山コースの登山道にはヒグマの痕跡がたくさん残されています。ミズバショウの群落を利用したヒグマの足跡や食痕、フン、登山道を利用したヒグマ達の足跡など、新しい痕跡が毎日のように発見されます。

巡視員は日々の巡視でその新しい痕跡を見つけるとサイズの計測やマーキングして記録していきます。毎日巡視員が入るこのコースならではのヒグマの記録です。

そうして巡視員がマーキングした日付入りマーキングポップを通じてヒグマの世界にお邪魔していることを実感しながら歩いてみてください(ポップはゴミにならぬよう管理しています)。



ウコンウツギ



ナナカマド



エンゴケウラ



チングルマ



ミヤマキンボウゲ



ミヤマハンショウ
ツル



高原ピークからの緑岳を望む

沼めぐりコースで見れる 見頃のお花たち♪



カラマツソウ



透き通る水を湛える空沼



キバナジャコウナゲ



イソバツジ



タニマスミレ



ゴゼンチバナ



高原温泉
ヒグマ情報センター

大雪山国立公園高原温泉 沼めぐり登山コース

2024年 第2号 (7月7日)
発行：ヒグマ情報センター